

# WFB 第 28 回世界仏教徒会議韓国大会ツアー

平成 28 年 9 月 26 日～28 日までの間、WFB（世界仏教徒連盟）第 28 回世界仏教徒会議韓国大会ツアーを開催しました。

世界仏教徒会議が開催される際には、全日本仏教会が加盟宗派、都道府県仏教会、関係団体及び賛助会員等の関係者を対象に老若男女問わず参加できるツアーを企画・主催しております。世界の仏教徒と接し国際交流を図り、仏教徒大会が開催される国の仏教文化に造詣を深めながら様々な宗派・団体を超えて縁を結んでいただく事を目的とし、日本の仏教会と親交のある寺院の参拝や見学など、全日本仏教会ならではの内容で開催しております。

日程中の大会式典及び主要行事をご報告致します。

## ● ツアー詳細

期間：2016 年 9 月 26 日(月)～28 日(水)

参加者：12 名

場所：韓国 ソウル

備考：韓国の宗教の信仰事情をガイドに聞くと、韓国で信仰を持っている国民が全体のおよそ 50%。そのうち、仏教が一番多く、およそ 25%だということです。曹溪宗・天台宗・華嚴宗・真覚宗などの宗派があり、国民 100 人中 12～13 人は仏教を信仰しているということになります。過去にも 2 度、WFB の世界大会が開かれており、今回は真覚宗の 70 周年記念も兼ねたセレモニーが催されました。

## ◆羽田より韓国・金浦空港へ

羽田空港にて本ツアーの結団式を行い、金浦空港へ向け出立。到着後、昼食場にて関西国際空港出発組と顔合わせ致しました。メニューはソルロンタンでした。テーブルサイドのキムチ、カクテキ(大根キムチ)も食べ放題でご飯との相性も抜群でした。



移動は貸し切りバスです。ガイドの話に耳を傾けつつ、オリンピック大路を通り楊花大橋で漢江を越え、ソウル市街に入りました。

#### ◆景福宮

朝鮮時代(1392~1910)の正宮で韓国を代表する古宮のひとつである景福宮を訪れました。かつて王が生活をしていた庭園が残り、国宝にも指定されている勤政殿は韓国ドラマ等にもよく登場し、室内の屏風絵が 10,000 ウォンの絵柄に使われるなど、今でも人々の生活の近くにある存在です。



かつて王宮を警備していた守門将の交代式を再現したセレモニーは観光の目玉となりました。韓国は国土の 70%が山岳地帯といわれるだけあり、都会にいても山が見え、王宮敷地内の伽藍をより壮大に見せます。それらを背景に行われる朝鮮時代の鮮やかな伝統衣装を身に纏った守門軍らは圧巻でした。

#### ◆青瓦台

次いで、景福宮からほど近い大統領官邸を見学しました。瓦に青磁が塗られ、「平和」を意味するきれいなコバルトブルーをしていることから「青瓦台」またはアメリカのホワイトハウスになぞらえて「ブルーハウス」と呼ばれています。常に警備が敷かれ、見学を実施している時間ともずれていたため車窓からの見学となってしまいましたが、北岳山(ブガッサン)を背に貫禄を漂わせます。

◆曹溪寺

韓国仏教のおよそ 90%を占める最大宗派である、曹溪宗の総本山、曹溪寺を参拝しました。仁寺洞という人気観光地にあり、地元ソウルの信者はもちろん、多くの観光客を呼んでいます。



韓国仏教歴史文化館を併せ持ち、境内には舍利塔や梵鐘楼、天然記念物の白松などの見どころが数々あります。平日の昼間でしたが、本堂にあたる大雄殿は読経、礼拝をする信者であふれていました。



学歴を重んじる韓国では毎年 11 月の大学修学能力試験の時期には学生の保護者たちが合格祈願で大挙するそうです。旧暦の 4 月 8 日には釈迦誕生日として「燃灯祝祭」がソウル市をあげて行われ賑わいます。

曹溪寺をあとにして、仁寺洞の町を散策しました。かつては王族や貴族の町であった仁寺洞。その名残で今でも骨董品店や画廊が並びます。近代のアートを展示するギャラリーも見られ、若者で賑わうショッピングモールがあるかと思えば、韓国伝統のお土産が買える雑貨屋も多く独特な町並みでした。本格的な韓国料理から屋台、カフェまで「食」も楽しめる町で、一行も伝統的な雰囲気をもったカフェで甘味に舌鼓をうち、しばし一休しました。

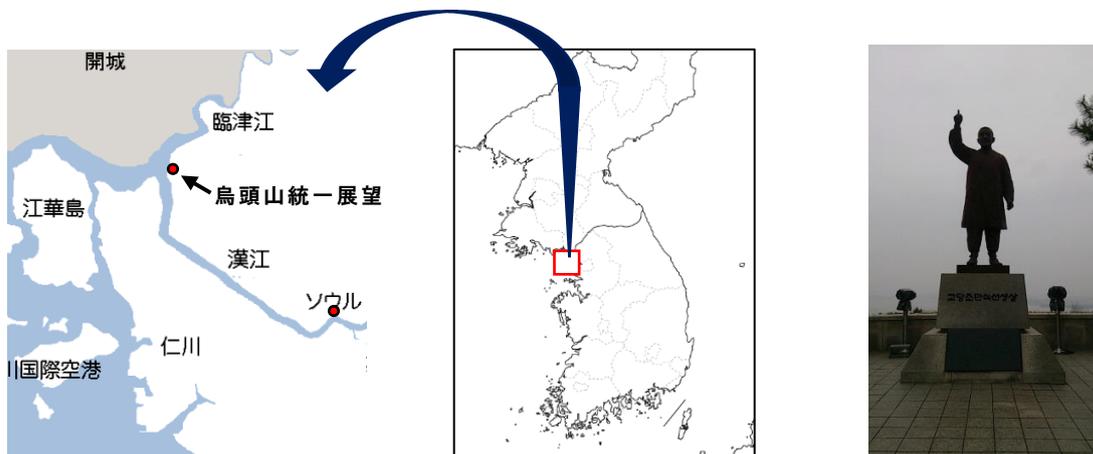
一日目の行程を終え、宿泊場であるグランドアンバサダーホテルに向かいました。夕食は明洞にて食事会を開催し、参加者一同和合を深めました。



日程二日目、午前中雨が降る生憎の空模様の中でしたが、38度線にある烏頭山統一展望台を訪れました。

#### ◆ 烏頭山統一展望台

ソウル近郊で北朝鮮を望むことができる場所が2ヶ所あります。1つは非武装中立地帯にある国境警備所「板門店(パンムンジョム)」。そしてもうひとつが「烏頭山(オドゥサン)統一展望台」です。朝鮮の独立運動家チョ・マンシクの像の向こう側には北朝鮮の大地が広がっています。



漢江(ハンガン)と臨津江(イムジンガン)が合流する地点に建てられており、川一本をはさみ北朝鮮の開豊郡の農村地帯とそこに暮らす人々を見ることができます。川幅が最も狭まる場所は460m程しかなく、まさに目と鼻の先に北朝鮮を望むことができます。北朝鮮側の木々は、ほとんど切られています。これは「燃料にするために切った」という話もありますが「脱北する人を監視するため」という見方もあるようです。

4階の展望室では、現在の北朝鮮、また国境付近の状況を説明する日本語のビデオを観ることができます。外に出ると、雨天で霞んではいますが北朝鮮が見えました。展望室にはジオラマ、望遠鏡も設けてあり、よく位置関係を把握できました。



地上4階地下1階建ての施設内には、北朝鮮の歴史、また統一に向けた取り組みを紹介する展示室や北朝鮮のものを販売する売店、町並みを体感するアトラクション等が設けられ、朝鮮半島分断の史実を学び、北朝鮮の生活を窺い知ることができます。



北朝鮮、韓国は北緯38度線で分断された国家として、今でも臨戦態勢にあり、独特の緊張感を漂わせる場所でした。

午後からはWFB世界仏教徒会議韓国大会 開会式典です。一度ホテルに戻り更衣して会場に向かいます。道中車窓より有名な南大門の崇礼門が見えました。



◆ WFB 世界仏教徒会議韓国大会

第 28 回 WFB 世界仏教徒会議韓国大会 開会式典・歓迎レセプションが AW コンベンションセンターを会場に開催されました。



開催国の韓国をはじめ、インド、タイ、中国、ネパール、台湾、スリランカ、インドネシア、マレーシア、アメリカ、バングラデシュ、フランス等の国々からおよそ 600 名の人々が参集し、私たちも WFB 日本センターの一員として参加しました。



式典の中で、本ツアー団の団長もお務めいただいている、全日本仏教会副会長・中西玄禮猥下が本会会長・小峰一允猥下の祝辞を英語で代読されました。



◆牛眠山觀門寺

日程3日目はソウル市街の寺院巡りです。まず牛眠山觀門寺を表敬訪問しました。140程ある大韓仏教天台宗の寺院の1つで、総本山救仁寺の別院として建立されました。



右上写真のお三方は左から西郊良光日韓仏教興隆協議会理事長、邊春光牛眠山觀門寺住職、中西玄禮本会副会長です。



伽藍の中でも一際目を引いたのが、大佛寶殿でした。一見すると、とても7階にあるとは思えない立派な造りで、堂内には釈迦如来・觀音菩薩・勢至菩薩が鎮座しています。



3階にある本堂には翡翠でつくられた本尊、観音菩薩に礼拝する信者の姿が見られました。三十三観音にもなっており、広い堂内では法要以外にも国際会議や講演、映画の上映をすることもあるそうです。



また、布教のための講堂、博物館、修行場も併せ持っています。総本山である救仁寺はソウルから3時間以上を要する山の中にあるため、都会に住む信者がいつでもお参り、お祈りができるようにと24時間門戸を開放しています。



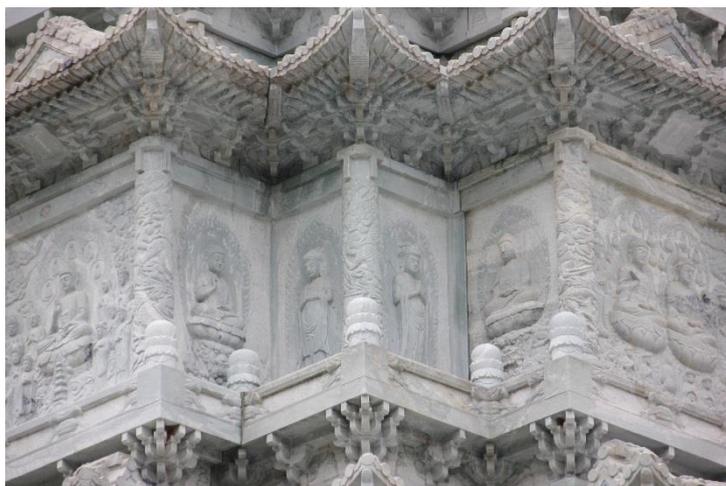
お茶とお菓子のおもてなしを受け懇談し親交を深めました。



韓国茶のお土産も参加者一人ひとりに頂戴しました。



最後に昨年落慶したという舍利塔を拝観しました。建立にあたり、タイ、ミャンマー、スリランカの寺院から仏舍利が寄贈されたそうです。細かな装飾が施され、14年の歳月をかけて建てられたということです。



◆奉恩寺

観門寺を後にして奉恩寺を参拝しました。ここは曹溪宗の寺院で江南区というオフィス街で近代的な高層ビルが多い地域です。その中にありながら、ソウル市の地方文化財にも指定されている真如門をはじめ 20 以上の伽藍を持ち、創建 1200 年を超える古刹は堂々たる佇まいでした。



一歩足を踏み入ると木々の緑や池の美しい花が目に入り、都会の喧騒を忘れさせます。



奉恩寺でも本堂には多くの信者がお参りに来ていました。慣れた手つきで所狭しと莫塵を敷いて御本尊に礼拝していました。



10年をかけ造られた弥勒菩薩の石像は高さ23m。一際存在感がありました。ここにも座布団一枚程の大きさの墓座が重ねてあり、人々がいつでもお参りできる様になっていました。



昼食に伝統的な韓国鍋料理をいただきました。お土産屋にも立ち寄り思い思いの土産を手に空港に向かいました。



金浦空港にて解団式後帰路に就きました。

ツアーを通して色々な行事、歴史的建造物に触れる中で、それを伝え残そうとする人々の思い、また地域の活動が垣間見えました。その思いや活動は寺院をあずかり護ってゆく私たちにとっても相通ずるものがあり、宗派や国の垣根を越え交流を持ちながら、研鑽を積むいい機会となりました。

今回のツアーに参加していただいた皆様、また私たちを温かく迎えて下さった韓国の皆様、関わった全ての方々のおかげをもちまして、無事にツアーを圓成できましたこと、感謝申し上げます。

次回の WFB 世界仏教徒会議は日本の成田・鶴見で開催されます。

全日本仏教会ではこのような大会に際し、様々な催しを予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。